2026年（令和8年）11月9日（月曜日） 2面

中建日報

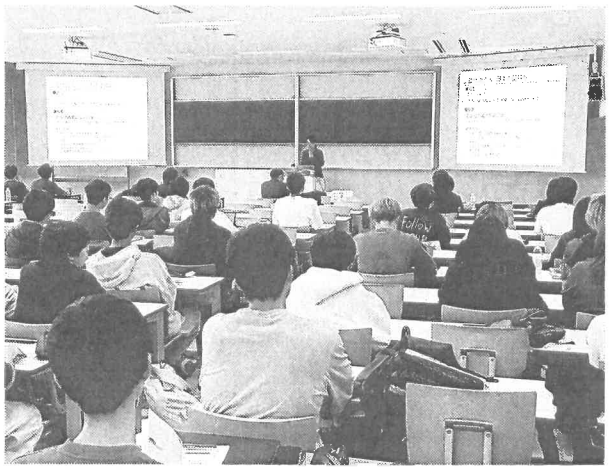
発行所
中建日報社

日測協

女性技術者が測量の魅力発信

ソクジョの会が広工大で講義

測量・地理空間情報分野で働く女性技術者でつくる「ソクジョの会」は2日、広島市佐伯区の広島工業大学を訪れ、「測量コンサルってどんな仕事？」をテーマとした特別講義を開いた。業界の第一線で活躍する女性技術者4人が講師を務め、学生らに対して将来の働く姿がイメージできるよう、具体的な仕事内容や社会的な役割などを分かりやすく伝えた。



講義のもよう

2015年6月に設立されたソクジョの会は、日本測量協会内に設置されている委員会。女性が働き続けるための技術力向上やキャリア形成などを支援するとともに、業界志望者の裾野拡大に向けた活動を展開している。

当日の講義には、同大学環境学部地球環境学科の2年生を中心に約70人が参加。講師は中日本航空の槇山千尋氏、パスコの二木あさ子氏、国際航業の趙麗嫻氏、アジア航測の樋口陽子氏が担当した。

このうち、槇山氏は『測量コンサルの仕事紹介』を演題に講演。測量は単なる計測作業にとどまらず、宇宙から水の中まで多岐にわたるフィールドで社会基盤を支えていることを説明した。また、業務の納期は年度末に集中する傾向があり、1月から3月にかけて繁忙期を迎えることが多いというリアルな実態なども伝えた。

さらに4人の女性技術者がそれぞれ登壇し、自身の経歴や具体的な業務の内容、日常の働き方などを紹介。各々が担当する「環境調査、深浅測量」「航空写真測量、オルソ作成」「道路台帳」「固定資産」の内容も具体例を交えて説明し、常に自分自身をアップデートし続けることの重要性が強調された。災害発生時の行政支援も重要なミッションの1つと指摘し、社会貢献度の高い仕事であると学生らに呼びかけた。

参加した学生らは、普段接する機会の少ない女性技術者による講義を通じ、測量・地理空間情報分野の仕事内容や将来のキャリアイメージへの理解を深めていた。